

# 生命(いのち)のメッセージ展 アンケート

令和6年11月3,4日開催

## 【自由記述】

故人の靴を見ると、やっぱりリアルな出来事として実感が強くなりました。

活動ありがとうございます。

同じ事が、くりかえされる。なんとか、ならないか？

切なくなった。

同じく犯罪被害に遭い、生き残った自分は何を成すべきか考えさせられました。

かけがえのない人・日常を全く無慈悲に奪われた悲しみは想像を絶します。犯罪はちゃんと裁かれ、被害にあわれたご本人・ご家族を国や行政がサポートしてほしい。悲しくて、全てを読むことができませんでした。

第三者が見ても辛くて悲しいのに、当事者のご家族の辛さを考えると、子どもの被害など、とても読めませんでした。本当にひどいことがあります。

どれもこれも、ニュースで見たものばかりでした。胸が痛くなりました。また、残された家族の方を思うと涙が出る思いです。

心から、犯罪被害者が出ないよう、祈ります。

被害者ご本人の無念、残されたご家族の無念、、心痛… 自分には何ができるのかと考えます。

飲酒したら、動かない車の開発が必要。事故を起こした人が、退所後、車が運転できないようにしないと、再犯の可能性もある。

命は大切。一番に守らなければならない。最近、命を奪う人が多い。なんとかならないか？行政など対策を早くしてもらいたい。教育(小さいときから)。

自分と同じくらいの方が、若くして亡くなられているのは、とても無念で悲しいことだと思いました。

命の大切さ、一人一人の言動を律し、人に迷惑をかけてはいけない。

集団暴行や飲酒運転をなくし安全に。事故を見たら、110番、119番に連絡することで助かる命があると思った。

私も交通事故にあったことがあったので、人ごとではないと思っています。

命は大切です。

以前にも母に勧められて来ました。本当に少し考えられれば、亡くなっている人が少ない行動ばかりなので、後先を考えてほしい。自分の判断で人の命を取ってはいけないと強く思った。

何とも言えなかった。と、言うのは、私も被害者家族であるからです。(事故ではないです。)プライベートな話になりますが、●●さんのことが忘れられません。直接の知り合いとかではありませんが、当時(2012年)、働いていた会社で一緒だった人が、●●さんのお別れ式に行った、と言っていました。でも、そこまではいいです。その後、その人にいじめられ、私の命も奪われそうになりました。他、祖父の命が奪われました。証拠が不揃いなので、訴えられません、この事実はどう向き合えば良いのだろう…って、12年経っても思います。(ごめんなさい、こんなことを書いて。)

命の尊さを思います。

犯罪による被害が増えないよう、願っています。

とても胸が締め付けられるようでした。ニュースなどで知る交通事故、殺人など、遠い世界の話のようで、他人事を感じている自分がいました。でも、パネル展を見て、そうではないことを実感しました。

読んでいて、悲しくなり、若い人の未来がなくなるのはほんの一瞬だと思った。色々なことをこれから経験できたのにもったいない。人々が安全運転を心がけ、事故のない社会にしていくべきだ。

読んでいて悲しくなり、全部読むことができませんでした。家族の人はとても辛いと思いますが、がんばってほしいです。

生命の尊さを感じるものでした。危険運転、飲酒運転は絶対に許されるものではなく、厳しく取り締まるべきだと思います。

人の命の尊さを改めて感じました。これから外に出る時は、十分気を付けようと思う。

犯罪被害者の支援に関して、いつも感じていることは、被害者に比べて加害者の処罰が余りにも軽すぎること。一生の傷を負って今後生きていかなければならない遺族に比べ、加害者は反省もそこそこに”リセット”と称して人生がやり直せる。余りにも不公平で理不尽だ。日本では処罰が甘すぎて犯罪防止のブレーキとなっていない。私見であるが、加害者には死刑を含め、重罪を科すことが、強く求められる。

自身も車を運転しているが、飲酒運転者が起こした事故は必ず、危険運転致死傷罪にすべき。医学が進んでも、悲しいことがまだ続いているのが辛い。

「自分は大丈夫」と、どこかで思っている部分があるけれど「いつか自分がもしかしたら…」「家族がいつか、もしかしたら…」と改めて考えるきっかけになりました。

靴の展示が印象的でした。

少なくとも自分は運転時に良い効果が得られることにつながっており、広い意味で犯罪抑止となっているため、社会をより良くする効果もあると思います。今後も様々なところで実施していただけることが有用と考えますので、どうぞよろしくお願いいたします。

生命のメッセージ展があることは知っていましたが、なかなか参加する機会がありませんでした。今回、展示を見て、生きることが、いかに尊いかを考えました。教室の中は空気が他とは違う感じがして悲しくなりましたが、来て良かったです。ありがとうございました。

考えさせられる。

生命の尊さを再確認しました。 悲しい気持ちになりました。

小さな子、若い人が将来を絶たれ、子を持つ親として、その原因が許せない。

亡くなられたあとも、続く時間。その人の突然の不在は、自分の日常と隣り合わせなのだと、感じました。多分、日常生活の中で出会ったとしても、なかなか語られることのないことに触れられて考えるきっかけをいただきました。特に車の運転について、何気なくしていたのですが、気を付けようと思いました。

一人ひとり被害に遭った方のプロフィールを読むだけでも、ほんの少しの理解でしょうが、大切な命について、考えさせられます。運転は気を付けるという、自分にできることをし続けようと思います。

学園祭の開催になると、子どもたちが「いのちのメッセージに行きたい」と言うので毎年見に来ています。1年に1回、生命の大切さを親子で実感する機会になっています。

新聞やニュースでは、他人事のように事件や事故をとらえていたが、今回のパネル展では、被害者の写真、靴、遺族の言葉があり、よりリアルに受け止めることができた。素敵な展示をありがとうございました。人生、大事に生きようと思います。

あまりに、むごすぎて、言葉がありません。被害者が泣き寝入りの状態はひどすぎます。加害者、特に、いじめで殺した人、極悪な運転で人をひき殺した人への、もっともっと厳しい処置を望みます。

被害者の人権を。

かわいそうだった。

このような展示を見たのは、初めてでしたが、子どもも真剣に見入っていて、良かったです。

かわいそうで、あまり読めないです。

身近な人や家族、自分も含めて、被害にあったり、加害者になったりすることは、誰にでもあるのだと感じました。誠実に、人としてなすべきことをして生きねばと思いました。

とても胸が痛みました。

良かったから。

一人ひとりの人生があるということを感じました。自分にできることは少ないけれど、交通事故を起こさないように、丁寧な運転を心がけようと思う。

昨年も来させていただきました。ありがとうございました。

辛い気持ちになりました。

突然、犯罪によって、もたらされた死。本人、家族の思いを感じるとたまりません。加害者には、厳しい罰則を適用してほしい。

僕の年齢ぐらいの人が多かったので、高校生は事故が多いのだな、と分かったし、自分も自転車に乗る時は、気を付けようと思いました。

身近でみることがなかった。もう少し大きな字だったら、読みやすかったかな、と思う。

犯罪被害者等支援という言葉を知った。同じ年で亡くなっている方がたくさんいた。命を大切にしようと思った。

僕も、気を付けて生きていきたいと思います。

自分が、我が子が、同じ目に合ったとき、どういう感情か、自分も加害者にならないように、気を付けたいです。

私も事故に気を付けたいです。

命の大切さ、それを考えず人の命を奪うことの愚劣さ、人間がコアな部分は持っているもの、それを包み隠しているものを清めていかなければ。展示を見て涙が止まりません。

理不尽な行動で、気の毒な死に至ることが辛いです。

普段、あまり考えないことに触れた。

他人事ではないと思いました。「自分だけは大丈夫」は、絶対に無い。運命という言葉では終われないことだと、強く思いました。

年齢を重ねていくうちに、パネルの文字が下にあり、見えづらくなっています。特にお子様のは下すぎまして、腰が…。ごめんなさい。個人的感想です！でも、このメッセージ展は、つながり続けて頂きたいと思います。これから、被害者支援が手厚くされること、また、被害者が一人でも少なくなりますように。

世の中が荒んでいるからといって、自分も同じ思いでいてはいけない。自分がどうなるか、家族がどう思うか…色々考えて行動する人達が増える世の中になってほしいと思います。

小さい子が死んで、かわいそうに思った。

神戸連続殺人事件の被害者、●●君のお父様の出られている番組を視て、長い間、犯罪被害者の会に参加されている弁護士の方の言葉が、心に残っています。

いのちについて、改めて認識を深めた。

かなしい。

急に家族を失った悲しみがとても伝わった。色々な原因があるが、車の運転をする身として気を引き締めようとも、改めて思った。

社会への周知。

とても辛かった。でも、当事者家族は、もっと辛いはず。ぜひ、支援が必要だと感じた。

自分が生まれる前の事件も多く、痛ましい気持ちになりましたが、知ることができてよかったのかなとも思いました。

若い方の命が、事故や事件といった形で命を落としていることに、心が痛くなった。

かわいそうで、あまり見れなかった。

とても悲しかった。

具体的な展示で、理解が深まった。被害者の靴に心が痛かった。

飲酒して事故を起こすことが多いのに、びっくりしました。飲んだら、絶対に乗ってはいけないと思います。

毎年、この学祭で、この展示に来ています。今では、この展示のために学祭に来るようになりました。被害者遺族はもっと守られ、加害者は被害者の数倍も罰せられるべきです。このような活動はもっと広めていくべきだと思います。毎年、ありがとうございます。ご苦労様です。

とても、一人ひとり、悲しかった。

1歳1ヶ月の子が死んだことが、とても泣きそうになった。

自分がいつ加害者になるか、わからないから。

生きて命がある大切さや、家族や大切な人を失う怖さを改めて感じた。

犯罪被害、加害、両者になるかもという、可能性は誰でも0ではなく、難しい課題であると思いました。

昨年も、ここで見ました。命の重さを感じました。また、今年も想いを馳せたくて来ました。

「命大切に」を、さらに大事なことだと思いました。

活動は、色々大変と思いますが、頑張ってください。

辛くなりましたが、これからの社会に必ずお役に立つと思います。ありがとうございました。

子どもが生まれ、街を歩く時も用心深く歩いています。交通事故がなくなるように、テクノロジーだけでなく、運転者の意識向上も必要だと思いました。

人の心の動きがよく分かった。知っているつもりでも、もっと深いところがあることが分かりました。ありがとうございました。

突然、大切な家族を失う。とても、つらく、悲しい。パネル展に出されるということは、現実と向き合うということで、避けたいのに、勇気と覚悟で展示されたことに感謝します。一日一日を大切にしなければいけないと、強く感じました。ありがとうございました。

病気ではなく、交通事故や暴力で一瞬に命を絶たれた方の無念を考えるといたたまれなく思います。まだ、見つかっていない方もおり、遺族の方の心労はいかばかりかと。

日常ニュースで知る情報だけでなく、関係者の苦しみ、悲しみが良く伝わった。

実際に履いておられた靴なののでしょうか！？この年齢になると、未来ある若い人達の命が亡くなる事が、本当に残念でなりません。交通事故やリンチ等、あってはならない事。自分に置き換えたら、絶対にやってはいけないのに、大切さを失っている。ご遺族の方々のご健康をお祈り致します。

事実を風化させてはいけません。

生命の大切さを考えさせられる機会となりました。運転、気を付けます。

ある日突然、明日を失った人とその家族の思いが伝わり、交通事故や事件の被害者が少しでも平穩にその後の生活を営める支援が必要だと思えます。この活動をこれからもどうか継続してください。頑張ってくださいね。このような機会をいただいて、ありがとうございました。

自分自身も車の運転をするので、色々と考えさせられました。

今、家族は元気に幸せな時を過ごしています。娘が小5、いじめにあい、死を自ら言い出したこと。何よりも今を大切に、命を大切にと願います。加害者にも被害者にもなりうる色々な面でも心のゆとり、思いやり、助け合いが必要だと日々実感。涙が止まらなかったです。

今まで、ニュース番組では「ニュース」としてサラッと通り過ぎてきてしまっています。ただ、その事件がどうなったかまでは、知ることがありませんでした。もっと被害者の声を届けてほしい。そうでないと、また「ニュース」になるだけで、どんどん被害者が増えるだけだ、と思いました。こんなにひどい判決が出されたのが、すごくショックでした。被害者の人権を守ってほしいです。

前回はそうでしたが、いたたまれない気持ちになります。自分の家族が同じ状況になってしまうと思うと、本当にこんな危険運転行為や、いじめ、医療事故を少しでも無くすよう、皆が心に思うべきだと思います。

未来ある若者の命が一瞬でなくなるのは悲しい。事故・事件がなくなれば良いのに…。

新聞で沢山の事件や事故の記事を読みます。一人ひとりの人生、その人の家族の心中を思うと辛いです。今日は、沢山考えたり、感じたりできる機会をいただき、本当に良かったです。

自身の子ともと同年代の人だと、ダブるので辛いです。

時が経つと忘れられることが多いので、こういうパネル展は、参加者が少しでも必要だと感じています。

心が痛みます。

涙がこみ上げてきて、最後まで見るできませんでした。

飲酒運転がなくなるのは残念です。これから年末年始とアルコール飲酒の機会が増え、飲んだら運転しない、という当たり前のことが守れない人が大勢いるから事故が無くならない。被害者になる方がいることを何故わかろうとしないのか、もっと法を厳しくするべきだと感じました。

作業所の作品を展示し寄付箱を置いておく。

文章を読むたびに目頭が熱くなります。無念の思い、人の心の闇が怖い。

確かに生きていた、という実感がわきました。

事故で死亡したことは、家族・親族を悲しませます。個々人が気を付けて行動したいものです。

幅広い年代の方の情報や思い等が書かれていて、生前に着用されていた靴が置かれていたことで、その方々が生きていたということを身近に感じることができました。運転をする身である者として、再度、運転する認識を見直そうと思いました。

事故などで、ある日突然に命を奪われる方がいる一方で、建物の外から、学園祭を楽しそうに過ごす声が聞こえてくる。この対比が、日常が失われる非現実さを強く印象づけているように思った。

胸に詰まるものがあります。今現在の孫と重なるものがあります。将来のある若い人が亡くなるのはとても悲しいものです。

元気に育てた我が子を突然失った人達を思うものすごくやさしい悲しい。こういった事故、事件がぜったいなくならなくてはならない。

左右を見る。死にたくない。

色々な人が殺されて、自分がものすごくいやな気持ちになった。ひどい方法で殺されている人がいて、その人たちだけはぜったいにゆるせない。

事故はこわいと思いました。そして、今なくなっている人が天国でわらってほしいと思いました。

こうつうじこがなくなってしぬ人も少なくなりますように

こうつうじこがなくなりますように

しょうらいお酒をのんでくるまをうんてんしてはだめだということを思いました。